



拜啓 秋晴心地好相

成中と處 佛前 穢垣

能ふ立 方々 夢の 佛儀

よまをし 此の 愚妻

今と此 氣遇と 世あり

御厚情 往者 感佩 信

昨日 帰宅 即一 頂戴

の月桂樹 大事

持矣 此 前の 千本松

と共に 棚の 挨拶 愛



持矣、此前の千本指

と共に 棚の 桜排愛

翫 仕女し、又の香子の

縁談の 就この 持あめ

高麗の 蒙り、内煩し

き事ト 志縮、夜し

堀城の ありの 守命は

外六女友の 凡の 海外の あり

あり、ととあり、命し、と 思

所か 躰踏 仕、守命

お成、をく、内地(東

京の 最も 希世)の 序

標の 変の 縁付 かせた

く 存、ら、い、中、し、も

西女 万三意、と 誰か せう水

西世 話と 仰、ま、を、美、と



標ち交り縁付かせた

く存るの心も

世方三意と注せり

世話と仰せ交り

我々の心も

世に出る縁定り

お輝出禮と

お取致取申さる

お取致取申さる

九月十日 宛

大隈伯爵

伯爵夫人 閣下